

Kanisuki若者プロジェクトが始動

若者と市と一緒に行政課題に取り組む事業、Kaniski 若者プロジェクト（Kani 若）を紹介します。

問合せ先 総合政策課



市民対象のワークショップ



竹あかり制作の様子



木曾川左岸遊歩道友の会と竹を伐採する可児工業高校生



可児工業高校建設工学科の皆さん

地域や人との関わりが宝物

地域住民と連携し、市の活性化に貢献したいという思いから、事業に参加することになりました。

制作活動は大変でしたが、みんなで考え、試行錯誤をし、とても良い作品ができました。このイベントを通して多くの人と関わり、とても貴重な体験ができました。

可児工業高校の校長先生から一言

高校生が地域に出て、いろいろな人たちと関わりコミュニケーションをとっていくことは、高校としても非常に意義のあることだと思います。

わりを持つことができました。生徒たちは受講したワークショップをもとに、市民対象のワークショップで作品制作の指導をするなど、市民団体や多くの市民と作品をデザインし、さまざまな竹あかりを作りました。これらの作品は8月19日に開催された「美濃金山城下ぶらり歩き」でお披露目され、高校生が制作した作品が兼山のにぎわい創出の一翼を担いました。当日は多くの人が兼山を訪れ、作品を目にした来場者からは「きれい」「これだけのものを作るのは大変だったと思う」などの感想が聞かれました。

2 観光ガイドブックづくり

公募で集まった高校生と市が観光ガイドブックを作ります。実際に体験したり取材をしながら、若い感性を生かしたガイドブックが期待できます。また高校生自身もこの活動を通して可児市の観光や歴史、文化に触れ、魅力のある可児市を形にします（ガイドブックは今年度中に完成する予定です）。高校生なら誰でも参加できます。一緒に制作に関わってみませんか。興味がある人は観光交流課にお問い合わせください。

地域資源の史跡や竹を生かして明かりを作り、地域の活性化に向けた取り組みとして行われました。この企画には可児工業高校の建設工学科の生徒が参加しました。また市民団体の木曾川左岸遊歩道友の会と一緒に材料となる竹を伐採するなど、地域の人たちと関

1 竹あかりプロジェクト

まずは高校生の参画をまちづくりの第一歩としてスタートし、大学生や20代の社会人などへ対象を広げていきます。また企画段階から一緒に取り組むこともできるようしていきます。今回は、現在始動している2つのプロジェクトを紹介します。

Kanisaki若は、可児市の将来を担う若い世代が行政課題に取り組む事業です。若者がその感性や能力を発揮し、活躍できる環境を整え、可児市に住みたいと思える魅力あるまちを創出することを目的に今年7月から始めました。このプロジェクトは単に要望を聞く機会をつくるのではなく、実施している事業に直接参加することが特徴です。市や地域がどのようなことを進めているのか肌で感じ、市の目指すまちづくりを共に実現できるように取り組んでいきます。

Kanisaki若とは？



みんなで話し合い、制作を進めていきました

やって体感、楽しさ実感

自分たちで考えたことが、可児市で実現する達成感を一緒に味わいませんか？可児市を愛する若者の皆さん、ぜひご参加ください。



塚本明里さん

Kanisaki若の事務局を設置し、可児市ふるさと広報大使の塚本明里さんが名誉局長に就任しました。SNSなどを通じて、若者や地域の活動を紹介していきます。